

1977年生まれ。京都大学大学院理学研究科宇宙物理学専攻博士後期課程修了。東京大学理学系研究科、京都大学宇宙総合学ユニット准教授などを経て、2018年より京都市立芸術大学准教授。専門は太陽、宇宙プラズマ物理。宇宙人類学や宇宙倫理学など、人文社会系研究者との共同研究や、宇宙落語、お寺で宇宙学など学問以外とのコラボ企画も手掛ける。



磯部 洋明

1968年生まれ。京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期過程修了。大阪大学理学研究科、京都大学基礎物理学研究所などを経て、2014年より京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻教授。研究テーマは、重力を中心にした初期宇宙論やブラックホールなどの理論的研究。現在、新学術領域研究「重力波創世記」の領域代表をつとめ、重力波データ解析による重力理論検証にも取り組んでいる。



田中 貴浩

1979年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京工業大学を経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻助教。専門は惑星科学。「我々はどこから来てどこへ行くのか」そうした究極的な問いに答えるため、理論モデルと数値シミュレーションをもとに、惑星と生命の起源と進化についての研究を行っている。



佐々木 貴教

1977年生まれ。京都大学理学研究科博士課程修了。国立天文台、NASA ジェット推進研究所、東京大学理学系研究科等を経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻准教授。星やブラックホールを始めとする天体の形成過程の理論的研究を行っている他、重力波の起源天体となる、これらの連星系形成の研究も進めている。



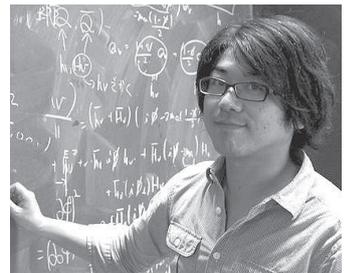
細川隆史

1970年生まれ。京都大学大学院理学研究科博士課程終了。ゲッティンゲン大学、京都大学大学院理学研究科附属天文台を経て、現在は同物理学・宇宙物理学専攻准教授。専門は恒星物理学における爆発現象の観測的研究。対象は主に激変星やブラックホールX線連星、恒星スーパーフレアだが、ガンマ線バースト、超新星爆発など大きな爆発現象に興味がある。



野上 大作

1976年生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京大学総合文化研究科、マックスプランク研究所、東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構を経て、現在は京都大学理学研究科物理学・宇宙物理学専攻准教授。恒星進化、および超新星爆発をはじめとする爆発天体現象を、理論・観測両面から研究している。



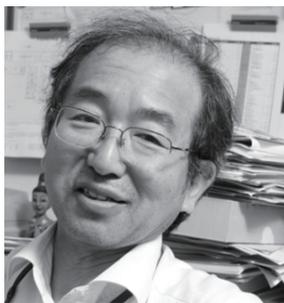
前田 啓一

1981年生まれ。京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士後期課程修了。高エネルギー加速器研究機構、ヘブライ大学、東京大学などを経て、現在は京都大学白眉センター特定准教授。専門はブラックホール降着円盤やガンマ線バースト、宇宙線など高エネルギー天体現象の理論的研究。



川中 宣太

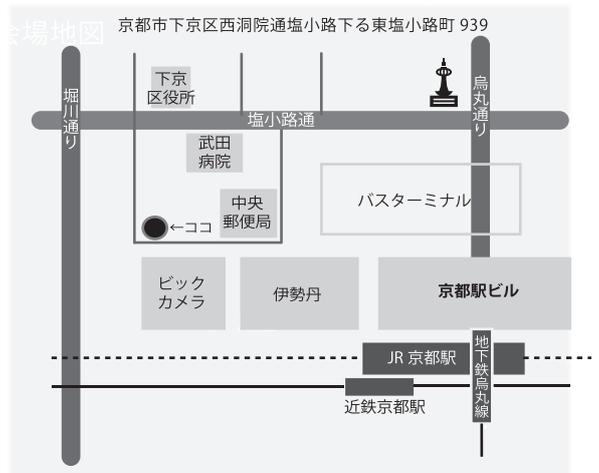
1954年生まれ。宇宙物理学者。京都大学理学部を経て、同大学大学院理学研究科に学ぶ。愛知教育大助手、助教授、国立天文台助教授を経て、1999年から京都大学大学院理学研究科附属天文台教授。2004-2019年まで天文台長。太陽および宇宙における激しい活動現象、とくに電磁流体力学的な爆発、宇宙ジェットを研究している。



柴田 一成

会場地図

会場：キャンパスプラザ京都



交通機関

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。京都駅から徒歩5分。

金曜天文講話

一般財団法人 花山宇宙文化財団

Eメール：info@kwasan.kyoto
ホームページ：http://kwasan.kyoto/